

青森県中小企業家同友会

DOYU

あおり

2022 Jun

6

vol.253



- 02 定時総会報告
- 04 青年部会設立特集
- 06 企業紹介
- 08 全県委員会紹介
- 11 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 12 新会員紹介／編集後記

Photo by 青森同友会青年部会

第25回定時総会開催報告

4月21日(木)、青森市の県民福祉プラザで青森同友会の第25回定時総会と記念講演会が開かれました。参加方法は昨年に引き続き会場とオンラインいずれかでの参加とし、71名が参加しました。

総会では2021年度の活動と決算の報告が行われ、満場一致で承認されました。引き続き2022年度の活動方針と予算が提案され、同様に承認されました。この中には青年部会と組織委員会の新設も含まれています。最後に理事・幹事改選の提案が行われ、こちらも承認されました。全ての議題が原案どおりに承認され、青森同友会25年目の活動が始まりました。組織図は次ページをご参照ください。

記念講演会は山形同友会・代表理事で(株)



▲挨拶する三浦克之代表理事

ティスコ運輸・代表取締役の菅原茂秋氏を講師に迎え「運ぶ」とおして価値ある未来を描く、市場創造は理念の深耕から」と題して行われました。中学卒業後にパイロットを目指して陸上自衛隊の少年工科学校へ進んだ後、除隊して山形県内にある自動車部品メーカーに就職した菅原さん。上司のすすめもあり2000年に独立しますが、創業当初は目の前にある仕事をただただこなしていくだけ、規模は拡大するものの利益が伴わない状況が続いたといえます。組織づくりの必要性を感じていた2005年に同友会へ入会、2007年に経営指針づくりに取り組みます。現在は経営指針の大きな柱「科学性・社会性・人間性」



▲講演する菅原茂秋氏

を軸に社員さんと向き合い、100年企業をつくるため一丸となって取り組み「物流全体最適化企業」を目指しています。毎年21項目のアンケートを全社員に対して実施し、定観測とフィードバックを徹底している同社の実践に参加者からは「対話する大切さを再認識できた」「菅原さんを見習ってビジョンを描き、時代や環境の変化に合わせた経営をしていきたい」といった声が相次いでいました。



▲約50名が集まった会場

●モニュメント
●デザイン
●ネオン
●サイン

ART DESIGN
株式会社
エアサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516
Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL <http://www.af-sign.com> MAIL design@infoaomori.ne.jp

私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社
SASAKI

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026 市 sasaki-gs.com

十和田市OS 0176-72-2026 A.M.ICS 0176-25-2311
車検・東北運輸局認定自動車整備工場・LPGガス・灯油・重油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

新役員体制

総 理 事 会

代表理事
大坂 憲一
三浦 克之

副代表理事
天内 清一
石澤 暁夫
岩岡 隆雄
附田 久志

理事
市川 恵子
稲葉 晃
小田桐隆夫
木村美栄子
鹿内 史芳
相馬 康模
高橋 利典
高橋 浩之
館 繁幸
田中 桂子

相談役
小笠原貞子

事務局

総務委員会

青森支部 支部長 阿保 貢	支部幹事	伊藤 幸生 工藤 光治 高橋 辰佳	大坂 将史 工藤 大輔 玉村 大子	小笠原忠六 来海 天将 千代谷一寿	加藤 幸二 櫻庭 敬子 成田 恭平	北田 白典 山崎 功造	晴輝 五大
上十三支部 支部長 大和 英樹	支部幹事	稲川 大輔 上久保聖一 溝口奈美子	岩木 勝志 木村 安雄 吉田 亮子	浦田ひとみ 黒沢 若菜	漆畑 善文 附田 暁	蛇沢 孝行 寺澤 恵司	李行 恵司
八戸支部 支部長 岩岡 隆雄	支部幹事	岩岡 慎雄 坂下 須藤 須藤 清文	金山 明弘 佐々木美佐子 沼相 俊吉	久慈 幸治 佐藤 武行 沼相 俊吉	久保 直樹 佐藤 泰治 田中 望草	坂 州代 島守 英樹 水野 浩司	
津軽支部 支部長 葛西 万博	支部幹事	石沢 幸彦	葛西 康人	加藤 人士	木津 一	奈良 栄治	
下北支部 支部長 川下 政男	支部幹事	河毛 優子	下斗米明子	藤田 鉄哉	三浦 博		
社員共済委員会 委員長 佐々木佳弘	副委員長 委員	木村 稔 石澤 暁夫 吉田 亮子	中村 景 岩岡 慎雄	坂下 静香	高橋 辰佳	田中 桂子	
共同求人委員会 委員長 花田 仁	副委員長 委員	佐藤 幸治 天内 清一 小野 均 酒井 孝信 附田 暁	石澤 暁夫 葛西 万博 相馬 康模 附田 久志	市川 恵子 葛西 康人 高橋 真史 山子 泰典	稲川 大輔 久慈 幸治 田中 望草	岩木 節子 小林 俊一 田中 春輝	
経営指針委員会 委員長 附田 久志	副委員長 委員	阿保 貢 岩岡 慎雄	稲葉 晃 来海 天将 寺澤 恵司	館 繁幸 横澤 山崎 功造	大和 英樹 吉田 亮子		
経営指針を創る会実行委員会 委員長 川越 隆雄	副委員長	加藤 人士	高橋 浩之	田中 桂子	吉田 亮子		
共に生きる障がい者問題 委員会 委員長 立崎 文江	副委員長 委員	蛇沢 孝行 浅井善美子 河原木俊幸 佐藤 寛子 中西 直美 吉田 愛輝	須藤 和彦 池田 右文 久慈 幸治 鈴木久美子 那須野正子 渡辺 精一	田中 里華 今村 健 佐々木美佐子 橋 友博 沼尾紀恵子 渡辺 精一	江波 信貴 佐々木佳弘 田中 桂子 南野 青	小笠原貞子 佐藤 直幸 中里 明光 吉田 亮子	
広報委員会 委員長 大和 英樹	副委員長 委員	加藤 人士 太田 格道	高橋 利典 上久保聖一	木村美栄子	鹿内 史芳	鹿内 麻矢	
(新設)組織委員会 委員長 渡辺 精一	委員	阿保 貢	岩岡 隆雄	葛西 万博	川下 政男	大和 英樹	
女性部会 部会長 岩木 節子	副部会長	木村美栄子	櫻庭 敬子	溝口奈美子			
(新設)青年部会準備委員会 委員長 横澤 篤司	副委員長 委員	岩岡 慎雄 大坂 将史 大和 英樹	加藤 幸二 駒井 伸介 葛西 万博	相馬 大希 附田 久志	館 繁幸 橋 友博		

(氏名順不同敬称略)



広告物製作施工

株式会社エーアンドエム

〒031-0823 青森県八戸市港高田3丁目3-3
TEL:0178-35-0799 FAX:0178-35-0798

青森県知事許可(給-24)第100121号

Oct, 有限会社 オクト

〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

■内装仕上工事(壁紙・ボード・床・クロス) ■タイル・石工事 ■ビル・住宅リフォーム工事

青森同友会青年部会

青森同友会青年部会・準備委員会の皆さんから立ち上げに向けた意気込みをお寄せ頂きました。50歳以下の会員さん、会員企業の後継者、幹部の皆さん、ぜひ青年部会へご参加ください!!



株式会社アイティワーク

嶋澤 篤司 氏

2018年2月、東北ブロックで初の東北6県の青年経営者を集めた「東北青年経営者フォーラム」が開催されました。東北地方各地から青年経営者が集まり、また第1回ということもあり、全国からも応援に沢山の経営者が駆け付けました。

その中で東北勢として青森同友会から参加した人数はわずか3名。全国各地から集まる元気で勢いのある経営者の皆さんをよそに、「この地域差は一体…」と感じたのを覚えています。あれから4年、東北勢では最後発の青年部会が発足します。私の役割は0から1を生み出すこと。そして後進の方々が1から10に出来る可能性を残していくことです。皆さんのご参加をお待ちしております!

【青森支部】



ソニー生命保険
株式会社 青森支部

加藤 幸二 氏

この度、青森県中小企業家同友会の青森青年部会立ち上げに伴い、私自身を関わらせて頂

きました皆様へ感謝申し上げます。立ち上げ初期メンバーとして関わること、様々な経験と成長、人脈形成をさせて頂くことができました。今後はこの青年部会を青森県全域に浸透させる役目として皆さんへ還元、尽力していくことで、もっともって青森県が元気になるよう、次世代を担っていく若き経営者と共に、社員さん、お客様のために成長できる学びの場として浸透させていけたらと考えています。宜しくお願い致します。



株式会社大坂組

大坂 将史 氏

日々、同友会活動に参加できるのは社員のおかげであると感じ、自社の皆さんに心から

感謝しています。

そんな中、今年度から青年部会が発足しその一員として活動していきますが、大切な時間を有意義なものへしていく為、青年部ならではの参加しやすい環境を整えられるよう運営に携わっていききたいと思います。

その中で多くの方々と繋がり人脈を広げ、多くの方の経験を開き今後の自分の成長へ繋げていきたいと思います。

またそれらの活動を通した経験も含め自分の成長を自社へ還元できるよう努力していきたいと考えています。

【八戸支部】



八戸酒造株式会社

駒井 伸介 氏

八戸酒造の駒井です。

八戸市の湊町で代々日本酒を製造しておりますが、日本酒市場は昭和後期からずっと縮小し続けています。私が蔵に戻って14年ほどですが、県内外問わず同業者の廃業や買収の話をよく聞きます。弊社も1775年の創業から数えれば240年以上続く企業ですので、自分の代で絶やすことなく、健全な状態で次の世代に繋いでいきたいと思っています。そのためにも、この青年部会の仲間、県内はもちろん県外の経営者の皆さんから学び、刺激をもらい、共に成長できる友を多く作りたいです。

そしてそれらを自社の経営にフィードバックし、青森の誇れる企業へと八戸酒造を成長させていきます。



株式会社岩岡

岩岡 慎雄 氏

この度は、青森県中小企業家同友会青年部会の発足おめでとうございいます。

昨年から進めている設立準備委員会のなかで、県内他支部の会員さんと出会い、嶋澤部会長のリーダーシップ溢れる活躍で発足することが出来ました。

同世代の仲間と、友情を深め、経営を学び、また県外の同世代経営者の方々と熱意溢れる交流は普段の同友会活動だけでは得ることのできない体験を今から楽しみにしています。1年間どうぞよろしくお願い致します。

【上十三支部】



株式会社マルヤマ

大和 英樹 氏

2015年に青年経営者全国交流会で山梨に参加した際に、全国の青年経営者のパワーに圧倒された事を今でも記憶に残っています。それから約6年の間、県内、県外の多くの青年経営者と交流する機会を頂きました。その中で多くの学びがありました。青森同友会青年部会が発足されることにより、さらに青年経営者の交流の輪が広がり、今まで以上に切磋琢磨できる仲間が増えると思っています。このチャンスを活かし、青森同友会をさらに盛り上げていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



合同会社くらしラボ

橘 友博 氏

青森県同友会青年部準備委員会で活動させて頂いております合同会社くらしラボの橘と申します。

去年入会したばかりでまだまだ分からないことの方が多い状態ですが、同じ準備委員会のメンバーと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。新しい知識や時代の潮流を取り入れ、変化の激しい時代を生き抜いていくため、人を繋ぎ知識を深め、何よりも楽しみながら活動していきます。愛と情熱を燃やします!!

【津軽支部】



有限会社たんば運送

稲葉 晃 氏

みなさん、こんにちは。有限会社たんば運送の稲葉晃です。私は青森同友会での多くの学びを得ました。特に経営指針を創る事で、経営者としての生き様と言うか、人生のゴール的なものが見え、社員と家族が誇れる企業を創るために私は生まれてきたのでは?と、何かを悟った感覚を覚えました。混沌とした力オス的な世の中ですが、遠い祖先もより良い暮らしを求めて数々の困難に挑戦し、成長しながら現在の豊かな社会を築いてきたと感じます。我々青森同友会青年部会のメンバーは、互いに学び合い、励まし合いながら先輩を見習い、先輩達の想いを100年先の仲間へバトンを繋ぐつもりで、失敗しても七転び八起き、先達達で今を完全燃焼したいと誓います。



株式会社加藤商店

加藤 人士 氏

青森県中小企業家同友会青年部会では青森県内外で活躍している経営者の方、そしてこれから経営者になる後継者の方たちと共に学び、語り、育み、経営者として、そして人間として成長できます。私は、青年部会の活動が活発になればなるほど青森県の活性化につながると思っています。それは、仲間たちが各々学んだことを落とし込んで自分の会社良くなっていき、そこで働きたいと思ってもらえる人が増えると青森県が盛り上がり、学んで熱い心をたぎらせませんか?

【下北支部】



有限会社陸水工業

館 繁幸 氏

下北支部の館です。青森県中小企業家同友会青年部会を立ち上げるにあたって本州最北端の支部として若手経営者、後継者に同友会理念である「自主・民主・連帯」を広く訴すため県内、東北、全国の青年経営者と多く語らい学び部会員とともに成長していきたいと思っています。その為にも、まず下北から経営者としての魅力を全国に発信できるように仲間を募集します!硬すぎず、緩すぎず同年代での学びで成長し時にはガラスを手を語らい、楽しくも本気で経営の勉強ができる部会にしていきたいと思っておりますので支部の皆様、どうか宜しくお願いします。いざ学びの場を全国へ!!



株式会社漁善

相馬 大希 氏

下北支部の相馬です。一昨年に入会し、活動自体はまだそれほど参加できていないわけではありませんが、青年部会ができると聞き、参加することにしました。部会活動に参加しながら同友会の全体像を掴んでいけたらと思います。私のように入会した方でも青年部会で活動して仲間を増やし、自社と地域を良くしていけたら素晴らしいと思います。一緒に活動しましょう!!



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字舘舘沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

会員企業紹介

青年部会準備委員長に聞く

株式会社アイティコワーク

代表取締役 觸 澤 篤 司 さん

〒031-0801 八戸市江陽5丁目15-12

電話：0178-38-9431

ホームページ：<https://www.itcowork.co.jp/>

今年度、青森同友会に新しく誕生する「青年部会」。その準備に奔走する準備委員長・觸澤篤司さんに創業の経緯や現在の自社の取り組みについて聞きました。



東日本大震災が 創業のきっかけに

觸澤さんは前職の株式会社サン・コンピュータで2010年9月から、国の緊急雇用対策事業として研修生約30人を集めた1丁関係の企業で働く人材を育成する技術研修の講師を務めていました。研修生は経験がある人もいれば未経験の人もいたそうです。1年間の研修の中で、研修生は同じ環境で研修をしていることもあり、研修生同士で友情が築かれていたそうです。研修事業終了後は、雇用に関する出口戦略を計画していましたが、2011年3月の東日本大震災で状況が一変。出口戦略の遂行が困難になります。これがきっかけで觸澤さんは当時同じ職場で働いていた岡本さんと一緒に退職し、研修生の中から7人を雇用する形でアイティコワークを立ち上げました。もし震災がなければアイティコワークは無かったかもしれません。

創業時の社内の雰囲気

緊急雇用対策事業の研修で1年間、密に関わってきたので、社員同士の仲間意識も強く觸澤さんとの関係もとてもフレンドリーだったため、皆で意思の疎通は取りやす

かったとの事でした。名前も全員お互いさん付けで呼び合い、いまでも社員からは觸澤社長ではなく觸澤さんと呼ばれ、親しみやすい雰囲気できています。

社員教育について

1年目は特に社員教育の取り組みは行わず、2年目に前職で経験していた緊急雇用対策事業をアイティコワークで受託したそうです。前回に比べると小規模での実施でしたが、この時の講師を前回は研修生だった社員にやってもらったそうです。そこで、人に教えることの難しさや、研修生とのコミュニケーションの取り方について実践を通して勉強できる機会を作ったとの事です。

觸澤さんはとにかく仕事（プログラミング）を楽しんでもらいたいという思いがあり、プログラミングを仕事とする会社はパソコン画面に向かって黙々と作業するというのがイメージがあるもので、そのイメージを払拭することに力を入れている



お試し入店スマホアプリ
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター三軒四丁目5番10号
TEL 0178-31-1255

気になるお店や
行ったことのないお店を
「お気に入りセレクト」を
簡単にお試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



会員企業紹介



現在の課題と展望

コロナウィルスが流行し、現在は業務のほとんどがテレワークになったそうです。今までは会社に社員が集まっていたので空き時間に雑談を

たそうです。そこで、社員のみんなと「うみねこマラソン」や「カッターボートレース」、地元のお祭りに積極的に参加して仕事だけではなく、余暇を楽しむ習慣を作りました。その結果、同じ体験をすることで同じ目標に向かって取り組むことの楽しさや達成感を体で覚えることができ、結果として社内でのコミュニケーション力や結束力が繋がったとの事でした。実はプログラミングは一人でやるイメージがありますが、一人で作業するよりチームで作業することの方が多く、プログラミングの設計、製造、テスト等、担当ごとに作業分担されており、それぞれ担当する人が違う為コミュニケーションが必要不可欠だといえます。またお客様とも小まめにやり取りをしなければいけないので、コミュニケーションが苦手な人だと難しい業界との事です。觸澤さんは、自身がセミナー形式で聞くだけの研修会が苦手という事もあり、みんな楽しく学んで気づけば身についていた、という社員教育をしていきたいとの事でした。

していましたが、今はオンラインのチャット上で業務の話しかしなくなったとの事でした。アイティワークはリモートでの作業に適した業種ですが、働き方だけに着目すると良いかもしれません。觸澤さんが大切にしている楽しく仕事をする事に關しては、人と人との何気ない日常のコミュニケーションが必要だと考えており、その部分が希薄になってきている事をとても心配していました。コロナウィルスが流行る前に入社している社員に關してはある程度コミュニケーションがとれているので問題なさそうですが、ここ1、2年で入社した社員はまだコミュニケーションを普段から取る環境が作れていないことが多い為このままではまずいと考え、最近では会社でできるイベントを企画して少しでも社員同士でコミュニケーションがとれる環境を作っているとの事でした。



記：大和 英樹

屋根・外壁・リフォーム工事 板金工事の専門会社です。



〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼22-17 TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833



有限会社 工藤板金工業

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附田久志氏
 奥青北建設・代表取締役社長



経営指針委員会では昨年度から「経営指針を創る会」でのテキスト改定や、経営指針の成文化状況を調査するアンケートの実施などを行っています。今年度も第19期「経営指針を創る会」を通じて「よい会社・よい経営者・よい経営環境」づくりに取り組む仲間を増やしていきます。

△経営指針委員会2022年度活動方針▽

①昨年度同様各支部との合同例会を通じて経営指針の重要性をPRしていきます。昨年度実施できなかった津軽支部から順に開催を計画します。

②4月より「第19期経営指針を創る会」を開講します。

③18期経営指針を創る会修了会員にお願いして19期実行委員会並びに経営指針委員会の運営メンバーとして活動して頂き、自社の経営指針書の更新を行い、実践し続けることで学びを深めて頂きます。

④昨年同様アンケートを実施し、会員企業の現状を把握し、1社でも多く会員が経営指針を成文化できるよう、呼びかけと支援の体制を充実させます。



共同求人委員会

委員長 花田仁氏
 鈴木建設工業㈱・代表取締役社長



令和4年度の合同入社式は、15社28名、付き添い者17名、合計45名で開催されました。

コロナ禍における企業経営に変革が求められております。求人活動においても企業ホームページ、

企業情報誌「WING」に加え、SNSを活用した動画を中心に若い人の関心を期待しての方策に転換してきております。

今年度は昨年に続き、インターンシップ受け入れに加え、リモートによる企業説明会また、むつ・小川原財団の助成金を受け、企業紹介の動画で発信力を高めたいと考えております。

「人づくり・企業づくり・地域づくり」の実践活動を目的とした共同求人委員会を通して、採用のみならず、社員さんの育成そして企業の成長につながる有意義な取り組みです。採用に関わる情報をお寄せ頂き、また委員会のお手伝いして下さる方を募集しております。

地域発展の原動力となる若者たちが生き生きと暮らせる躍動感ある地域づくりの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
 TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



委員会活動紹介

社員共育委員会

委員長 佐々木 佳弘氏
ササキ石油販売(株)・代表取締役専務



今年度から社員共育委員長を務めさせて頂く事になりました佐々木佳弘です。宜しくお願い致します。石澤前委員長が一貫して継続して来られた共育の重要性、そして想いをより発展させ、委員会・同友会を盛り上げるよう頑張ります。

今年度は、以前から継続してきた新入社員研修や中堅社員研修等の、社内各層の成長を促進させる集合型研修の内容をより充実させます。その一環として、新たに女性社員限定の座談会(9月)の企画を進めていきます。また、年間通して継続・自主的に社員共育を社内実践出来るようなカリキュラムを検討し、年度後半または次年度からの活動として取り組める様にしたいと思います。

集合型研修に代表される即効性の高い企画と、じわじわと漢方薬的効果が期待出来る企画の両面で、会員企業の役に立てるように、何より、委員会メンバーが一番学べて成長できる委員会を目指しています。

社員共育で悩んでいる方はぜひ、その悩みを委員会で話してみませんか。もしかしたら同じ悩みをもつ企業があり、その改善策、活動がみんなの為になるかもしれません。

委員会への加入は簡単です。事務局または支部の理事・幹事に一言言っただけで参加出来ます。自社発展の為に一緒に社員共育活動をしましょう。委員会、研修会ともに沢山のご参加、宜しくお願い致します。



共に生きる障がい者問題委員会

副委員長 立崎 文江氏
(一社) 日々木の森・代表理事



「障がい者と共に生きる事が当たり前の社会に」を目的に活動しています。

障がい者理解をすすめる活動を行うと共に、同友会の目指す「人を生かす経営」の実践により障がい者も含め全ての人が生き生きと働く事ができる取り組みをしています。

いきます。

2022年度も「つながる」がテーマです

①学びでつながる

「障がい者雇用を知る・考える」と題して3回のシリーズセミナーを行います。

②対面でつながる

障がい者雇用を行っている企業の見学や、支援事業所、行政担当者招いての研修活動を行います。

③身近につながる

障がい者雇用に関わる際の困りごと・悩みごとの相談ができる「よろず相談所」として委員会内の情報共有を図ります。

④ネットにつながる

障がい者雇用に向けた実習受け入れ企業のマップを作成します。

⑤全国とつながる

他県の障がい者問題委員会企画への参加をはじめ、講師を招いての勉強会開催を企画し全国の仲間とつながります。



ニッポンの駅をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADOショップは、お買できる、お取りフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉町丁32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



KID 有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1

TEL.0175-29-5611

釜山山展望台からの眺め「アデハヤウの夜景」

委員会活動紹介

広報委員会

委員長 大和 英樹 氏
(株)マルヤマ・代表取締役



今年度の広報委員会は、広報誌「DOYOUあおもり」で会員企業の「会員が気になる取組み」を深く紹介し、委員会・部会活動についても特集ページを作成していきます。そして「DOYOUあおもり」を会外向けにも発信し、会員増強につなげていきたいと考えています。

今までは情報発信が主な活動になっていましたが、より良い同友会活動をするために会員の声を集める情報収集も行っていきたいと思っています。主な実施方法としては例会の時に様々なテーマのアンケートを実施したいと考えています。

現在は、情報発信の方法や媒体の種類が豊富になってきておりますので、YouTubeやSNS、動画制作等の勉強会を広報委員会内で実施したいと考えています。

広報委員会は経営者に必要な、聴く力、伝える力を鍛えることが出来ます。併せて全ての企業に必要な情報発信力の勉強もできる場所です。広報委員は随時募集しておりますので、興味がある方は、近くの広報委員まで気軽に声をかけてください。今年度もよろしくお願い致します！



女性部会

部会長 岩木 節子 氏
(株)岩木建設・専務取締役



本年度の〈活動方針〉は次の項目といたしました。

①例会は経営実践報告を中心に行います。

②2022年6月に島根同友会の設置で開催が予定される第55回国行事へ積極的に参加しましょう。

③「顔の見える」部会活動の一環として、顔写真つき部会員名簿を作成します。

④他の地区の例会に積極的に参加し、全県での部会員の交流を広げます。

まずは、6月に島根同友会にて6月16・17日に開催される女全校が現地でのリアル開催となりました。開催目的は社会問題への取り組みとどのような次世代に繋げるか、性別や年齢、地域を超えて持続可能な社会づくりを踏まえ、経営実践の輪を広げることです。青森同友会からも男女共同参画を意識していただきたく、全国の女性経営者と交流する皆様の参加を期待しております。



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字梅沢59番地21
東管工業株式会社
代表取締役 蛙沢 宮 行

TEL 0175-63-4450
FAX 0175-63-4467

～共に生きる障がい者問題委員会コラム～ 「ある親のひとりごと」

(株)FPパートナー青森支社八戸オフィス 田中 里華

「障がい者の定義」について、私はずっと考えてきた。はじめは現在23歳になる上の娘のことで。

通わせていた保育園の先生から呼び出され、言いづらそうにこう切り出された。「娘さん、他の子より手がかかって人手が足りないので、職員の増員申請をしてもらえませんか？」というのだ。どうやら親からの要望がないと規定以上の職員を配置できないという事らしい。私は先生からの申し出を断ったものの、その日から「うちの子は他の子と違っているのか?」「先生からの相談を受け入れられない自分は間違っているのか?」などと様々な考えがうずき、ずっと不安と闘っていた。当時、上の娘は3歳半。ちょうどその頃、下の娘が元気に生まれてきてくれた。できるだけ早く職場復帰したかった私は、1歳2ヶ月で下の娘も保育園に預けた。上の娘と比べて夜泣きもしないし、すごくよく眠ってくれる手のかからない子で、先生方も褒めてくれた。「本当によく眠るし、手がかからないですね」と。同時に気になる言葉・・・「けどね、どうも目が合わないのよね」。目が合わない・・・上の娘の成長の遅れを指摘されていることもあり、私にとってこの言葉は無視できるものではなかった。私はこの頃から物事の全てを「どうすればこの子たちが生きていきやすいか」という事に軸をおいて考えるようになった。

現在、娘たちは23歳と19歳。二人とも立派に自分の力で収入を得て暮らしている。上の子は健常者、下の子は障がい者として。今は彼女たちが元気に働いているだけで、本当にありがたいと感じている。けれど、今でもやっぱり悩ましい。二人の見た目に大差はない。ただ、障がい者という一線のハードルはとてつもなく高い。障がい者だと認めたくない、けれども認めないと働けない。これは下の娘にとって、とても大きな「障害物」だ。この「障がい者の定義」については国の制度、社会の仕組みなど、個人のレベルではどうにもならないこともある。ただ、職場や学校、家庭の中で一人ひとりのアイデンティティを認め合おうと努力する事は誰にでも出来るはずだ。「障がい者の定義」が生きる上での「障害物」にならないような社会に向けて、何が出来るのか考えていきたい。



A-SETU
水の問題、迅速解決!!
もう、水まわりの心配はさせません。
☎017-766-2421

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
地域に貢献します。

鈴木建設工業株式会社
〒033-0062 三伏市新町三丁目31番102201
Tel. 0176-53-3073 Fax 0176-53-9600 suzokikensetsu.co.jp

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【青森支部】
(株)ワイズスタイル
代表取締役
蔵田 由貴美

白いスタイルで、生花・造花など様々なお花を提案する花屋「花と雑貨の店 Y's Style」(青森)と、お花の楽しさを伝えるレッスン(東京/青森)を定期開催しています。(開催/ブライダル/各種会場装花/ギフトなど)

〒030-0813 青森市松原 3-15-28
TEL/FAX:017-718-3787
URL:<http://www.ystyle.jp/>

【青森支部】
マルシン青山商店(同)
代表社員
青山 真治

水産卸業をメインに小売、系列会社で水産加工卸売等しております。

〒030-0957 青森市豊沢 2丁目10-2
TEL:017-764-0117
FAX:017-764-0118



【八戸支部】
パパママふあいと協会
代表
下町 三三夫

子育て支援サイト「パパママふあいと八戸」を14年運営。アニメーション、テレビCM制作も得意です。

〒031-0001 八戸市類家 5丁目36-10 ベルグイルソーレC
TEL:0178-80-7333
URL:<http://papamama-fight.com/>



【八戸支部】
ながうし農産加工企業組合
代表理事代理補佐
長牛 友重

米、大豆、ブルーベリー、ニンニクなど栽培しながら、地元のおばあさん方が加工し、館前朝市などで販売しております。

〒039-1101
八戸市尻内町小瀬間木 10-11

随時 会員募集中!

編集後記

今年度は青年部会と組織委員会という新しい組織が青森同友会に誕生します。

広報委員会では会員の皆さんに青森同友会の「今」をお伝えするとともに、皆さんが知りたい同友会の情報も盛り込んで広報誌を発行していきます。ご期待ください。

ロースリー資源 <http://www.rosure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字旗込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579

南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地藏平1-578
TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295